

AOI通信

静岡音楽館俱楽部情報誌
JUNE 2011 No.62

夏号

インタビュー
東誠二

第16回「静岡の名手たち」
オーディション合格者決定! ほか

コンサートシリーズ2011-12 [第2期] のご案内

AOI ゆかりのアーティスト 今田篤さん(ピアノ)

調律師とピアノ

interview with

東誠一 ピアニスト

7月23日、静岡音楽館AOIのベートーヴェン：ピアノ・ソナタ選集Vに出演する東誠三さん。彼が教鞭を執る東京藝術大学の研究室で、このコンサートについてお話を伺いました。

——東さんは今、2008年から福島の三春交流館「まほら」で、8回にわたってベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏に取り組んでいらっしゃいますが、この度の震災の影響で今後の日程が変更になりました。

2008年9月から始まって、この4月に開催するはずだった第6回が10月に順延になりました。今度の災害は、地震と津波だけでも未曾有の大災害ですが、さらに原発事故も同時に起つてしましました。この世界には、人間の力では対処しきれない事というものがある、そういう事を考えさせられます。自分にできる事は小さいかもしれないけれど、やはり何かしなければならない。そんな思いから、福島を支援しようと、チャリティー・リサイタルをさせていただきました(5月8日、東京)。福島の三春町は、とても静かな、日本の原風景のような山里ですが、100年も200年も前から、文化という人の心の世界に深い敬意を払ってきた地域だと思います。そこで、本当に情熱を注いでくださるボランティアの方たちに恵まれ、ベートーヴェンのピアノ・ソナタの全曲演奏ができるのを幸せに思っています。

——その全曲演奏の、いま真っ只中な訳ですが、始める前と何か心境の変化はありますか？

ベートーヴェンのピアノ・ソナタ32曲、その全曲演奏というのは、ピアニストにとって、いつかは取り組んでみたいひとつの大きな目標だと思います。私は中学生ぐらいの時からそう思っていました。始める前からそれが大変だという事は当然判っていましたが、やっていくうちに、ベートーヴェンのいろいろな様相を、これまでよりさらにはっきりと感じられるようになりました。それは私にとって大きい事です。現象としてはほとんどが些細な事ですが、以前は「楽譜にそう書かれているからそく弾く」という事だったところが、少しづつ、「そく書かれている」事の意味を感じられるようになってきて、そんな発見がとても新鮮な刺激になっています。ジグソーパズルのように、だんだん全貌が明らかになってくる。それが面白い。同時に、ベートーヴェンのピアノ・ソナタの全て、大きい作品もあれば小さい作品もある、その全てに接することで、いろいろな事が自分で鍛錬されてくる、様々な事が自分の身体の中に入ってくるという感触もはつきりとあります。そんな訳でベートーヴェンに今、とてもめり込んでいます。

——ベートーヴェンのピアノ・ソナタとは、どんな存在ですか？

彼の、いえ、ベートーヴェンの作品のひとつとして実感するのは、演奏するために、内面的なエネルギーをともに要求されるという事です。他のどの作曲家よりも、音の多い少ない、曲の長い短いに関係なく、隅から隅まで自分の全精力というものをそこに傾注することが保証されない限り取り組めない音楽だと感じています。



絶賛発売中!
ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ選集V
東誠三 ピアノ・リサイタル
7/23(土) 18:00 開演(17:30 開場)
全指定¥4,000(静岡音楽館俱楽部会員¥3,600、22歳以下¥1,000)

曲目／L.v.ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第12番《葬送》変イ長調 op.26
第14番《月光》嬰ハ短調 op.27-2
第26番《告別》変ホ長調 op.81a
第31番 変イ長調 op.110

お得なセット券のご紹介
「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ選集」セット券¥7,000
(静岡音楽館俱楽部会員¥6,300)
① 7/23(土) 東誠三 ピアノ・リサイタル
② 11/12(土) マルクス・バウリック ピアノ・リサイタル

——いま、「彼」といそになつて「ベートーヴェン」といなおされました。が、全曲演奏に取り組む事で、ベートーヴェンとの距離がすごく近づいていることが判ります。それだけ、ベートーヴェンが作曲している瞬間の情念といったものを自身の中で消化されているのだと思いますが、演奏に、並外れてそれを要求される精神性の強さが、ベートーヴェンが偉大である理由のひとつ、なのでしょうか。

並外れていますよね。彼は「第9」のような巨大な音楽も作っていますが、卑小な事も含めて、人間の全てが音楽になっている。その奥深さは、やはり他の作曲家に比べて並外れている。ここまで広くいろいろな事を音にした人が、果たして存在しただろうか。最近そう思うようになりました。

——比喩として、ピアニストにとってJ.S.バッハの《平均律クラヴィア曲集》が「旧約聖書」でベートーヴェンのピアノ・ソナタ32曲が「新約聖書」であると言われます。

実感として、やはりそく言われるだけのことはあると思います。その比喩そのもの、鍵盤音楽のなかでの位置づけとして非常に的を射ている気がしてきました。ピアニストにとって、まさに「バイブル」と言っていいと思います。私は聖書のことは詳しくないです。

——今回、AOIで演奏していただく4曲は、その中でも特に名曲と言われるものばかりです。

私にとってどれも非常に思い入れの深い曲です。《葬送》^{*1}は小学生か中学生ぐらいの頃、NHKホールでアルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリの実演を聴いています。この日のプログラムが何だったか、もうはっきり憶えていませんが、ミケランジェリの演奏について語ると、きっと言葉足らずになるのであまり言いたくないんですけど――音が磨かれているのは当然の事で、表現がとても自然で、それでいて訴えるものが深い。さらに、伝わってくるいろいろな情感の全てが調和している。不思議な空気がありました。力演、熱演というのが多いですが、そういうふうに感じる演奏はなかなかないです。いつかこういう空気が作れたらどんなに素晴らしいだろうと思いました。子どもの時からいい作品をいい演奏で聴くことは、音楽に対する感じたを確実に養います。私がずっとピアノを続けてこれたのは、そういう幸福感に培われてきたのかもしれません。

《月光》^{*2}は、ベートーヴェンのピアノ・ソナタの中では《熱情》と並んで、もっとも多く演奏してきましたが、弾けば弾くほど深い。第1楽章はポピュラーですが、そのたたずまいには厳然としたものがあって、そして第2楽章に移る、その変換の鮮やかさは他に類をみない。私はとくにこの第2楽章がとても好きです。唯一無二の魅力があります。

《告別》^{*3}は、私が高校生だったか大学生だったかの時に聴いたルドルフ・ゼルキンの実演が非常に心に残っています。感覚的な言い方ですが、愛情があったんです。もちろんしっかりした構成があった上で、その音楽やその作曲家に対する愛情が解釈になって溢れて、全て愛情という事が形を成している。《告別》はベートーヴェンとルドルフ大公の友情から生まれた作品で、多分、ベートーヴェンがルドルフ大公に寄せる親近感が音になっている。私がゼルキンの演奏に対して感じた親近感というのは、ゼルキンが作品に対して読み取った、ベートーヴェンとルドルフ大公の親近感だったのではないか。最近ようやくそう感じるようになりました。

東誠三(ピアノ) Seizo AZUMA (Pf.)

1962年生まれ。東京音楽大学付属高等学校から東京音楽大学に進み、井口愛子、中島和彦、野島稔、片岡ハルコの各氏に師事。83年、第52回日本音楽コンクール第1位。同校卒業とともに、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に留学。日本国際、モントリオール(カナダ)、カサディッシュ(アメリカ)など、数多くの国際コンクールに入賞し、演奏活動に入る。これまでにヨーロッパ、北米などでリサイタル、オーケストラと共に演奏し、国内ではNHK交響楽団をはじめ、各地の主要オーケストラにソリストとして招かれ、好評を博す。98年、第24回ショパン協会賞受賞。ソロ活動と共に室内楽にも強い意欲を示し、「ボア・ヴェール・トリオ」での活動をはじめ、多くのソリストたちと絶妙なコラボレーションを聴かせている。2008年、ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全曲演奏会シリーズがスター。CD「ベートーヴェン：悲愴&告別ソナタ」、「ラ・カンパネラ・リスト名曲集」などが発売されており、「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第1集～魂に刻まれた音の記憶～」は、レコード芸術2010年4月号にて特選盤に選ばれた。現在、東京藝術大学准教授を務めるほか、東京音楽大学、国際スズキメソード音楽院などで後進の指導も行う。本格派ピアニストとして、真摯なアプローチから生まれる洒脱な音色と生命力あふれるダイナミズムによって、常に高い評価を得ている。

——全曲演奏に取り組むなかで、ベートーヴェンという人間がより深く理解できてゆく、そしてそれが解釈、演奏に繋がっていくんですね。

そうだと思います。ベートーヴェンの多くの音楽は、誰にも追随できないほど、見事に構築されている訳ですが、さらにそれを超えようとする人間がいます。それが作品に投じられているところに、すごく魅かれます。後期の3つの作品はどれも大傑作ですが、第31番^{*4}はその中の1曲で、やはりこれにも忘れない演奏があります。私がパリ音楽院に留学している時に聴いたラドゥ・ルブーの演奏が、今まで自分が聴いたコンサートの中で、ベスト10、いや、今のところベスト5に入っています。ルブーの演奏はいつも素晴らしかったけれど、あの時の演奏は最初から最後まで、そこの人間が介在していることを感じさせない、人間が工夫とか、人間ができる事を超えた次元にまで到達しているように思いました。この曲を書いた頃のベートーヴェンは、実生活の中では甥の世話を異常にほど執着して、それにずいぶんエネルギーを費やして、耳も聴こえない、身なりもだんだん構わなくなつて酒に溺れる――そんなぐちゃぐちゃな時期で、そういう精神状態の中で、これだけの音楽を残すという事がどういう事なのか、私にはまだよく理解できない。

——第31番には「苦惱から歓喜へ」という「第9」と同じテーマを聴く事ができると思うのですが。

まさにその通りで、それが、もっとも美しく意味のある力強い形で実現されていると思います。実生活では絶対に実現しないという確信があったから書けたのか、もしくは実生活においても彼の中では実現していたのかもしれない。いずれにしても音楽としてはあの形で完全に実現できた訳です。

「クラシック」というからには、それらは遠い過去の音楽なのかも知れないが、ベートーヴェンが200年ぐらい前の音楽であっても(J.S.バッハでもW.A.モーツアルトでも)、本当に素晴らしい音楽であるならば、その音が生まれた瞬間の、作曲家の感情、そのフレッシュさが枯れ果てる事はない。だからこそ「クラシック」として長い歳月に耐え、今日まで残っているのだ。その点で演奏とは、そのフレッシュさを楽譜から解放し、聴衆に届ける事であるといえる。東誠三さんの言葉を聞きながら、そんな事を改めて考えた。全曲演奏を通じて作曲家との対話を続けている東誠三さんでなければ奏でる事のできないベートーヴェンを、もうすぐAOIで聴くことができる。

*1 ピアノ・ソナタ第12番《葬送》変イ長調 op.26 (1800-01)

第1楽章は主題と5つの変奏、第2楽章はスケルツォ、第3楽章は〈ある英雄の死を悼む葬送行進曲〉、第4楽章はロンド形式と、組曲的な構成のピアノ・ソナタ。〈ある英雄〉が誰をさすのかは明らかでない。

*2 ピアノ・ソナタ第14番《月光》嬰ハ短調 op.27-2 (1801)

後に詩人のL.レシテルが第1楽章を「レーベルン湖、月光にきらめく波、そこに小舟が漂うかのよう」と評した事から《月光》とよばれる。その第1楽章と、烈しい第3楽章に挟まれた短い第2楽章、F.リストはこれを「2つの深淵のあいだに咲く1輪の花」に喻した。

*3 ピアノ・ソナタ第26番《告別》変ホ長調 op.81a (1809-10)

1809年、ナポレオンのフランス軍がウィーンに侵攻、ベートーヴェンと親交の深かったルドルフ大公が退避し、翌年に薨した。それを第1楽章《告別》、第2楽章《不在》、第3楽章《再会》として描いた作品。「Lebewohl(さよなら)」という言葉を下降する3つの音に換え、第1楽章の重要なモティーフとしてこの作品は始まる。

*4 ピアノ・ソナタ第31番 变イ長調 op.110 (1821-22)

最後の3つのピアノ・ソナタのひとつ。第1楽章には「愛をもって」と記されている。第2楽章のスケルツォを経て、第3楽章は序奏の後(嘆きの歌)が奏でられ、また、フーガが展開され、最後は晴れやかに上昇していく曲を結ぶ。

取材：静岡音楽館AOI学芸員 小林旬 2011年4月28日、東京藝術大学にて

第16回「静岡の名手たち」 オーディション合格者決定!

5/14(土) 打楽器、声楽部門、5/15(日) 弦楽器、アンサンブル部門

全55組の応募より8組の方が審査員の厳しい耳で「静岡の名手」として選ばれました。

この8組は10/8(土) 第16回「静岡の名手たち」オーディション合格者によるコンサートに出演いたします。

静岡から新しい才能が羽ばたくステージを是非お見逃しなく!



有賀美聰(ソプラノ)



入川獎(打楽器)
(ロダン賞受賞)



岩田豊美(マリンバ)



野田舞(サクソフォン)
酒井絢子(ピアノ)
(ロダン賞受賞)



浜松金管五重奏団



日比恵三(ヴァイオリン)
(コンセルト賞受賞)



望月一平(バス・バリトン)



渡辺有夏(メゾ・ソプラノ)

「アマチュア・アンサンブルの日♪」出演者決定!

AOI開館以来初の試みとなる「静岡・室内楽フェスティバル2011」の中でも、これも初の試みとなる「アマチュア・アンサンブルの日♪」の出演者24組が決定! 入場無料のコンサートの中では様々な楽器が鳴り響くアンサンブルをお楽しみいただけます! いつものコンサートより開放的でクラシック初心者の方も安心。みんな一緒に音楽を楽しみましょう!

出演/amici(ピアノ・デュオ)、アンサンブル・ヴァンルージュ(フルート、ヴァイオリン、チェロ、ピアノ)、アンサンブル 花音(木管三重奏)、アンサンブルるる静岡(フルート、ヴィオラ、ギター、チェロ)、アンサンブル・ブリューム(弦楽五重奏)、NKB48(ヴァイオリン二重奏、ピアノ)、ME4(マリンバ四重奏)、オーケストラ・スプラウト(リコーダー・アンサンブル)、ギター・アンサンブル サウンド・オブ・ドリーム、グラスクインテット(木管五重奏、ピアノ)、くらりんじゅー(クラリネット七重奏)、サックス・アンサンブル「PICO」、じいじと楽しい仲間(ピアノ三重奏、打楽器)、静岡県トロンボーン協会(トロンボーン五重奏)、静岡県立清水東高等学校音楽部(弦楽アンサンブル)、チーム「EK」(クラリネット二重奏)、トリニティ・トリオ(ピアノ三重奏)、Por Venir(ヴァイオリン、ピアノ)、MYROS(リコーダー・アンサンブル)、マリンバ・アンサンブル“ソレイユ”、mille-feuille(フルート六重奏)、リバティー・フルート・アンサンブルなずな(フルート三重奏)、レ・ルボア・サクソフォン・カルテット、山田木管五重奏団

(50音順)

静岡室内楽フェスティバル2011
アマチュア・
アンサンブルの日♪
11/23(水・祝)
12:00 開演(11:30 開場)
*18:00 終演予定
入場無料 *申込不要
ただし定員によりご入場をお断りする場合があります。

第6期「ピアノ伴奏法講座」受講生決定!

2006年度より毎年開催している「ピアノ伴奏法講座」の第6期受講生6名が決定いたしました。
7/2(土)～12/11(日)の修了記念コンサートまで講師3名の指導のもと、全10回の講座を行います。



鈴木絢子 濑川裕美子 田中玲奈 幅田詠里子 森田ひかり 横路裕子



あなたも聴講してみませんか? 聴講生随時募集中!

AOIでは、「音楽の次世代の継承」を重点方針のひとつに掲げています。その代表的な活動である「ピアノ伴奏法講座」は、ピアニストが様々なレパートリーと取り組みながら、ピアノという楽器に、より多角的にアプローチできるよう、そして音楽そのものをより深く理解できるようになることを目的としています。第6期を迎えた本講座は從来の音楽的・技術的指導はもちろんのこと、楽曲分析や楽器奏者の視点に立った講義、そして新たにピアノという楽器をより良く知るために調律師によるお話しも交えます。

全国的にも類を見ない企画として過去ご来場いただいた方々から好評をいただいている「ピアノ伴奏法講座」を是非一度、ご聴講ください。



日程

①7/2(土) ②7/3(日) ③9/10(土) ④9/11(日) ⑤10/29(土)
⑥10/30(日) ⑦11/26(土) ⑧11/27(日) ⑨12/10(土) ⑩12/11(日)

奇数回/13:30～19:30 実技レッスン

偶数回/10:00～19:30 アナリーゼ

講義～奏者の視点から*②⑧
ピアノをめぐる音響を考える*④⑥
実技レッスン

*時間はレッスンの状況により変更する場合があります。

会場/ホール(8階)、講堂(7階)

講師/野平一郎(作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督)
横川晴児(クラリネット奏者)、向山佳絵子(チェロ奏者)
倉田尚彦(株式会社松尾楽器商会調律師)*④⑥講義講師

聴講料/一般:奇数回¥2,000 偶数回¥3,000(第10回を除く)
22歳以下¥1,000
10回通し券:一般¥20,000円、22歳以下¥9,000



東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。東北・関東のいくつかのホールに被害があつただけでなく、各地でコンサートが中止を余儀なくされ、また、海外からの演奏家たちが来日を取りやめるなど、震災は、クラシック音楽にも大きな影響を与えています。静岡音楽館AOIは、ここで奏でられる音楽が被災者の方々の心に届くように祈りつつ、コンサートを続けていきたいと思っております。



東日本大震災復興支援チャリティーコンサート 静岡音楽館AOIの仲間たち

8/11(木) 19:00 開演(18:30 開場) 全指定¥3,000

*静岡音楽館俱楽部会員割引はありません。

*チケット代はすべて東日本大震災復興のため日本赤十字社を通じて寄付させていただきます。

芸術監督/野平一郎のよびかけに賛同して集まった音楽家たち
幸田浩子(ソプラノ)

林美智子(メゾ・ソプラノ)

AOI・レジデンス・クワル텟/小林美恵(ヴァイオリン)、河野文昭(チェロ)

静岡音楽館AOI企画会議委員/福田進一(ギター)

静岡音楽館AOI芸術監督/野平一郎(ピアノ)

[主催] 静岡音楽館AOI 指定管理者(財)静岡市文化振興財团

[協力] すみやグッディ株式会社

[後援] 静岡市

*チケットのお求めには、クリエイターカード、静岡音楽館俱楽部「コンサート割引券」等の割引券・補助券はご利用いただけません。

*託児サービスはありません。

*都合により内容を変更する場合があります。

曲目のリクエスト受付中! 詳しくはホームページをご覧ください。

AOI 検索



コンサートシリーズ2011-12
[第2期]のご案内
7/16(土)より発売
会員先行販売7/9(土)~15(金)

CONCERT SCHEDULE

エマニュエル・パユ フルート・リサイタル ～華麗なるオペラ・ファンタジー～

9/22(木) 19:00 開演(18:30 開場)
全指定¥4,500(静岡音楽館会員¥4,050、22歳以下¥1,000)

2004年、2007年と静岡の聴衆を魅了したエマニュエル・パユが待望の再来。2011年の今回は華麗なるオペラの世界を、そのきらびやかなフルートで奏ります。発売日前より多数お問合せをいただいている完売必至のコンサートです。



© EMI Classics

アンサンブル・イティネレール

10/15(土) 18:00 開演(17:30 開場)
全指定¥4,000(静岡音楽館会員¥3,600、22歳以下¥1,000)

パリから驚異のヴィルトゥオーゾ集団がAOIにやってくる! 技術力で、フランスと日本の現代曲を披露。また、世界初演となるL.リゾ=サロムの作品にも期待が高まります。2011年、日本でもっとも注目されているコンサートをお聴き逃しなく!



ベートーベン:ピアノ・ソナタ選集VI マルクス・パヴリック ピアノ・リサイタル

11/12(土) 18:00 開演(17:30 開場)
全指定¥4,000(静岡音楽館会員¥3,600、22歳以下¥1,000)

2009年からお届けしてきたベートーベン:ピアノ・ソナタ選集の最後を飾るのは、あの帝王カラヤンも才能を認めた「真のヴィルトゥオーゾ」マルクス・パヴリックが登場! 超難曲《ハンマークラヴィア》をはじめ名曲《熱情》も聴き逃せない!



© KARUIZAWA ARTS FESTIVAL 2008 photo by Bishin Jumonji

静岡室内楽フェスティバル2011 ランチタイム・コンサート 小林美恵(ヴァイオリン)&桑形亜樹子(チェンバロ) デュオ・リサイタル

11/18(金) 11:30 開演(11:00 開場)*12:30 終演予定
全指定¥1,800(静岡音楽館会員¥1,620、22歳以下¥1,000)

AOI初の試み「静岡室内楽フェスティバル2011」の幕開けは、日本を代表するヴァイオリニスト小林美恵と、美しい音色を奏でるチェンバリスト桑形亜樹子のデュオによるバロック音楽のランチタイム・コンサート。



静岡室内楽フェスティバル2011 AOI・レジデンス・クワルテット

11/18(金) 19:00 開演(18:30 開場)
全指定¥3,500(静岡音楽館会員¥3,150、22歳以下¥1,000)

昼間のランチタイム・コンサートでヴァイオリンとチェンバロの調べを聴いたら、夜はAOI・レジデンス・クワルテットで重厚な弦楽四重奏曲を好評を博し、数々の名演を披露してきたAOI・レジデンス・クワルテットがついにベートーヴェンの世界に挑む。



静岡室内楽フェスティバル2011 N響首席奏者たちによる室内楽

11/25(金) 19:00 開演(18:30 開場)
全指定¥4,000(静岡音楽館会員¥3,600、22歳以下¥1,000)

「静岡室内楽フェスティバル2011」の最後を締めくくるのは日本最高峰のオーケストラNHK交響楽団のエッセンス。AOIの芸術監督・野平一郎のピアノとともに極上のアンサンブルで聴く至福の一夜。



ランチタイム・コンサート 勝山雅世 オルガン・リサイタル

12/7(水) 11:30 開演(11:00 開場)*12:30 終演予定
全指定¥1,800(静岡音楽館会員¥1,620、22歳以下¥1,000)

リクエストが非常に多い待望のオルガンのコンサートをランチタイム・コンサートで開催。クリスマスの季節をいろどる莊厳なパイプオルガンの響き。約1時間の短いコンサートなのでクラシック初心者の方も安心! 世界に誇るAOIのオルガンの音色を是非一度お聴きください。



子どものためのコンサート 神童 モーツアルト

12/18(日) 15:00 開演(14:30 開場)
全指定¥2,500(静岡音楽館会員¥2,250、22歳以下¥1,000、親子券¥3,000)

神童よばれたモーツアルトのオペラ・アリアを中心紹介。毎回ユーモアに富んだ企画で聴衆を沸かせる池田直樹が親子で楽しめるモーツアルトの世界の魅力をたっぷりお届けします。お得な親子券もございます!



お得な セット券の ご紹介

「ランチタイム・コンサート」セット券

¥3,000(静岡音楽館会員¥2,700)
①11/18(金) 小林美恵(ヴァイオリン)&桑形亜樹子(チェンバロ)
デュオ・リサイタル
②12/7(水) 勝山雅世 オルガン・リサイタル

連載⑤ 調律師とピアノ

AOIのステージの裏には常に最適な温度湿度に保たれたピアノ専用庫があり、4台のコンサートグランドピアノが用意されています。このうち2台はドイツ・ハンブルグのスタインウェイ&サンズ社製、1台がオーストリア・ウィーンのベーゼンドルファー社製、そしてもう1台が日本のヤマハ製です。私たちコンサートテクニシャンの多くがこれらコンサートピアノの製造工場で調整や整音の技術を学ぶことは、2回目の連載でも取り上げました。私自身も日本楽器製造(現ヤマハ)の技術者養成施設で初步の技術を学んだ後、系列の楽器店で調律師として仕事を始めたのですが、より専門的に調整や整音の技術を学ぶため現在勤務している松尾楽器商会に入社し、日本に輸入されたスタインウェイピアノの出荷調整を数年間学びました。その後渡欧し、ベーゼンドルファー社やスタインウェイ社の製造現場で技術を学ぶことができました。ベーゼンドルファー社の門を叩いたのは27歳の時。当時創業160年を迎えていたこの伝統ある工場では、10代の若者からこの道何十年のマイスターに至るまで和気藹々と楽しそうに働いていたのが印象的でした。少年時代に合唱団に在籍していた人も多く、大部屋の調整室でだれかがポップスやクラシックのメロディーを気まぐれに口ずさむと、次々に即興でハーモニーをつけて歌っているにはカルチャーショックを受けました。このように音楽と空気のように接している人たちが長い伝統の中で培ってきたピアノ作りを肌で感じることができました。

いっぽうスタインウェイのハンブルグ工場は、近代工業化とクラフトマンシップが程よく融合した合理的な工場、という点で自動車工場に例えるなら、F1の世界で活躍するスポーツカー専門メーカーといった雰囲気。ドイツ人の勤勉さを持って製造に没頭しているので、ウィーンのように歌声は聞こえません。調整や整音はもちろん、刃物の研ぎや、塗装などすべての部門で高い専門性とプライドを有した人たちの工場でした。仕上げたピアノを「一般的にはこれでOKだけれど、ここはスタインウェイの工場だから、さらに一つ上の仕事をしないとね」と、丹念にチェックを繰り返していたマイスターの厳しい表情が心に残りました。

また世界最大の楽器メーカーであるヤマハのコンサートピアノも、近年、著名な国際コンクール等でばらしい成果を上げており「モノ作りニッポン」の高精度で信頼性の高い品質が評価されています。

このようにピアノ工場にも働いている人たちの国民性や雰囲気の違いがあり、それらが設計や材質の違いと共に、楽器の個性に彩りを添えていることは興味深いことだと思います。またAOIへいらっしゃった際にこれらのピアノの個性の違いにも注目されると、コンサートの楽しみ方がまたひとつ増えるのではないかでしょうか。

松尾楽器商会 調律師 倉田尚彦



AOIゆかりのアーティスト

今回は、「静岡の名手たち」オーディションに過去2回(第13、15回)

合格されている、今田篤さんにお話を伺いました。

今田さんは、第79回日本音楽コンクール第2位の受賞歴も持つ、期待のピアニストです。

現在、東京藝術大学音楽学部器楽科3年に在学中です。

ピアノを始めたきっかけを教えてください。

2歳の時に母親に連れられて音楽教室に入ったのが、ピアノを始めるきっかけになりました。

AOIの印象は…?
楽器もホールも素晴らしいです。

「静岡の名手たち」オーディションを最初に受けたきっかけは何ですか?

出身地の静岡県で行われる演奏会ということと、憧れのAOIのホールで演奏ができるということに魅力を感じ、オーディションを受けました。

好きな(尊敬する)作曲家・音楽家はいますか?

現在、大学で師事している伊藤恵先生。演奏はもちろんですが、お人柄もとても素晴らしい先生で尊敬しています。

オーディションでの思い出やエピソードがあれば教えてください。

とても響くホールなので、家で練習していた時と音の聞こえ方が違ってしまい、苦労しました。

今回出演されるコンサートの聴きどころを教えてください。

今回のコンサートは、前半にクラシックの名曲、後半に日本の民謡ということで、普段コンサートは敷居が高くて…と思われる方にも楽しんでいただけるプログラムになっています。ぜひ、お越しいただけたらと思います。

これからのお活動の展望や目標をお聞かせください。

コンサート活動も行いたいし、ヨーロッパでクラシックを学びたい、国際コンクールにも挑戦したい…やりたいことはたくさんありますが、常に感謝の気持ちを忘れずに精進していくと思っています。

ありがとうございました。コンサートを楽しみにしています。



静岡市葵生涯学習センター×静岡音楽館AOI連携事業 「静岡の名手たち」によるコンサート

11/19(土) 13:30 開演(13:00 開場)

静岡市葵生涯学習センター(アイセル21)・ホール(1階)

入場無料・要申込

出演/生駒宗明(チェロ)第14回「静岡の名手たち」オーディション合格者

今田篤(ピアノ)第13、15回「静岡の名手たち」オーディション合格者

曲目/F.ショパン:序奏と華麗なるポロネーズ ハ長調 op.3

E.エルガー:愛のあいさつ op.12

C.サン=サーンス:《動物の謝肉祭》より〈白鳥〉

滝廉太郎:花

さくら さくら(日本古謡)

成田為三:浜辺の歌 ほか

[主催] 静岡市葵生涯学習センター 指定管理者(財)静岡市文化振興財團

[協力] 静岡音楽館AOI

お問合せ/静岡市葵生涯学習センター(アイセル21)

TEL:054-246-6191

チケットでスマイル

Ticket de Smile

加盟店のご紹介

フレンチとワインをカジュアルにお楽しみいただけます。

■レストラン「comme des poissons」

TEL.054-283-3535

静岡市駿河区南町2-14

営業時間11:30~14:00 (L.O.13:30)、

17:30~22:00 (L.O.21:00) 月曜日定休

http://www.commedespoissons.com/



【おすすめ】

comme des poissons

ディナーコース…¥3,980

(オードブル7種盛り合わせ、メインディッシュ、デザート、食後の飲み物)

*メインディッシュ、デザートは
お好きなものをお選び頂けます。ディナーにてコース料理をご利用のお客様に
ウエルカムドリンクまたはチーズデザートをサービス
(チケットに記載の日付(期間)から1週間まで1回限り有効)駿河湾深層水で入れたコーヒーを庭を眺めながら
のんびりお楽しみください。

■庭のある珈琲の店「レザン」

TEL.054-253-7641

静岡市葵区常磐町1-7-9

営業時間8:30~20:00 (土曜日12:00~20:00)

日曜日・祝日定休



【おすすめ】

レザンブレンド…¥500

ロイヤルミルクティー…¥550

ワインナーコーヒー…¥600

ドリンクメニュー20%OFF

(セットメニューを除く)

(チケットに記載の日付(期間)から1週間まで1回限り有効)

Ticket de Smile加盟店は静岡街中に66店舗!ぜひご利用ください。

※チケット記載の日付(期間)に限り、1回ご利用いただけます。

※チケットを提示されたご本人さまのみ有効です(店舗によって異なる場合があります。)

Q1.

クラシックの演奏会は夜の公演が多く、子どもを託児所に預けてまではなかなか行けません。AOIは子どもの入場制限を設けていませんし、子ども向けの公演もしていただけるのでありがとうございます。

A1. 貴重なご意見をありがとうございます。AOIではより多くのお客様に公演をお楽しみいただけるよう、年齢による入場制限を設けておりません。また、当館主催公演の際には7階にて託児サービスを行っておりますので、ぜひそちらもご利用ください。

Q2.

大人の初心者向けの企画もしてくださると嬉しいです。

A2. そんなお客様には7月23日(土)ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ選集Ⅴ 東誠三 ピアノ・リサイタルがお勧めです!誰もが一度は耳にしたことがある「月光」も演奏。名曲ばかり並んだ充実のプログラム。ぜひ、心ゆくまでベートーヴェンの音楽をお楽しみください。

AOI
コミュニケーション
ひろば
お客様の声お客様からのご意見・
ご感想を紹介し、
スタッフがお答えします。

次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。

皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

*価格は税込です。

*都合により内容を変更する場合があります。

*お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。

*場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。

*携帯電話、スマートフォン付時計等の使用はご遠慮ください。

*他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。

*静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、

お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止まりになります。開場時間になりますまで1階エレベーター前か、7階口前でお待ちください。(ただし、7階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。

*静岡音楽館AOIでは、小さなお子様にも良い音楽を聴いていただきたいと考え、未就学児童の入場を制限しておりません(22歳以下のチケットが必要です)。

小さなお子様連れのお客様は、他のお客様のご迷惑にならないよう充分ご配慮ください。

静岡音楽館俱楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。

なお、平成24年度以降の退会をご希望のかたは、平成24年2月末までに、静岡音楽館俱楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館俱楽部 法人会員(2011年5月末現在)50音順

- かわした歯科クリニック
- (株)サンタモニコボレーション
- 静岡ガス(株)音楽部
- 静岡ターナーハウス(株)
- (株)静岡博報堂
- (株)タミヤ
- 三菱電機(株)静岡製作所

主 催 静岡音楽館AOI 指定管理者(財)静岡市文化振興財団
 特別協賛 静清信用金庫
 協 賛 アイワ不動産 HARVEST HOMES

要事前予約・託児料: 1人¥1,000
 すわん TEL.054-247-7477 (9:00~21:00)
 託児サービス 留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。

静岡音楽館AOI学芸員

小林 旬

学芸員雑記

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ選集
それぞれのプログラム

静岡音楽館AOIの「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ選集」は、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ32曲からおもなものをセレクト、3年6回、うち4回を海外からの多彩なピアニストで紹介する贅沢なシリーズ。それぞれのピアニストがそれぞれのアプローチで、ピアノ音楽の歴史的な主峰、ベートーヴェンのピアノ・ソナタに挑む。

第1回(2009年5月)はAOIの芸術監督、野平一郎みずからが先鞭をつけた。第17番《テンペスト》と第21番《ワルトシュタイン》というベートーヴェンの中傑作ソナタに、ブルームスの後期、シェーンベルクとアルバン・ベルクの初期の作品を加えて、ベートーヴェンから20世紀に続く、ウィーンのピアニズムの系譜を示す。古典派、ロマン派、近・現代と隔絶された既存の音楽史の概念を問いかねし、それらを連續的に貫いた。

第2回(2009年11月)、スウェーデンのペーテル・ヤプロンスキは、もともと《ワルトシュタイン》の第2楽章として作曲されたアンダンテとソナタ第30番に、ショパンを挿んで、アメリカ20世紀の作曲家、コープランドの《エル・サロン・メヒコ》(メキシコ酒場)というベートーヴェンとはまるで世界の違う音楽をぶつけた。「まことに独創的な選曲」(諸井誠)。

第3回(2010年7月)は「鬼才、天才」と喝采されるファジル・サイ。世界中で注目されているトルコのピアニストだ。AOIでもチケットは完売。前半にシューベルトとシューマン、後半にベートーヴェンの最後のソナタ第32番という、彼にとっては驚くほどクラシックなプログラムが注目されたが、当日、前半は、リストが編曲したバッハの前奏曲とフーガ BWV543とリストのソナタに変更。リストのソナタはベートーヴェンのピアノ・ソナタを凌駕しそうな大曲だが、そのパワフルな演奏で、結果的にはファジル・サイらしさを聴かせたりサタイルになった。

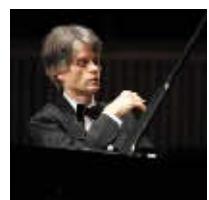
第4回(2010年10月)は古楽器フルティピアノを聴く。古楽がさかんなオランダからやってきた重鎮スタンリー・ホッホラントの演奏。プログラムは第10番、第8番《悲愴》、第22番、第15番《田園》と、こちらはすべてベートーヴェンのピアノ・ソナタ。静岡ではフルティピアノを聴く機会があまりないだけに、聴きなれた《悲愴》をフルティピアノであらためて聴くことは、多くのひとにとって新鮮な体験だったに違いない。

第5回(2011年7月)は東誠三。彼はいままさに3年以上かけ、福島のホール、三春交流館まほらでベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏を取り組んでいて、CD化もされているが、震災の影響で今後の日程が変更になった。AOIでのプログラムは第12番《葬送》、第14番《月光》、第26番《告別》、第31番という名曲ぞろい。全曲演奏という偉業のエッセンスを聴くことができるだろう。

そして最後の第6回(2011年11月)で演奏されるのは第29番《ハンマークラヴィア》。ベートーヴェンのピアノ・ソナタでもっとも難曲といわれるこの作品は、オファーしてもピアニストに断られてしまうこともしばしば。それを、芸術監督が信頼をもって任せたのはドイツのマルクス・ハウリック。15歳にしてすでに帝王カラヤンにその才能を認められたこのピアニストは、日本ではあまり知られていない。今回、AOIのために来日し、併せて東京の津田ホールでも演奏することになった。ベートーヴェンの3大ソナタのひとつ、第23番《熱情》も演奏。選集の最後を、完璧なテクニックと磨き抜かれた音色でしめ括る。



東誠三



マルクス・ハウリック

JR静岡駅北口を出てすぐ左

静岡中央郵便局
併設ビル内7~9階

駿府博物館

静岡市美術館

松坂屋

至浜松

国道1号線

至東京

(有料)P

P

ホテルアソシア静岡

至浜松

パレスエ

JR静岡駅

駐輪場(有料)P

N

至東京

東海道本線・新幹線

JR静岡駅

・静岡科学館る・くる

*当館専用の駐輪場・駐車場はありません。

CONCERT HALL SHIZUOKA

静岡音楽館

AOI

月曜日休館(ただし祝日開館、翌日休館) 9:00~21:30開館
〒420-8691 静岡市葵区黒金町1番地の9

お問い合わせ

054-251-2200

AOI

検索